

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	福井県生活協同組合	代表者	檜原弘樹	法人・事業所の特徴	法人の福祉理念「あなたらしきいつまでも」を念頭に、ご利用者・ご家族・地域の方に対してお役立ちができるよう努めています。 ご利用者の「～したい」の思いを聴き、その人らしさを支える事を目標に、「生協10の基本ケア」に基づいた生活リハビリを行い、出来ることを増やすことで、「ご本人が望む暮らし」が実現出来るよう職員一丸となって取り組んでいます。 また、認知症カフェを毎月開催したり、近所の神社を定期的に清掃したり、園児や児童と交流しながら、地域に密着した事業所をめざしています。
事業所名	県民せいきょう 小規模多機能ホーム 大野きらめきハウス	管理者	松田 卓見		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	3人	人	2人	人	人	2人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<p>【自己評価について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日のミーティングは今後も継続して行い、状態に応じた支援を行っていきます。 ・電子機器への入力を継続し、入力方法を工夫する事で記録にかかる時間を軽減しつつ情報の共有を円滑に行い、適切な支援に繋げていきます。 <p>【地域関わりシートについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祭り時期を調整し、地域の方が参加しやすい時期を選定します。 ・地域の方と協力し、清掃活動を継続して行っています。 	<p>【自己評価について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日のミーティング、毎月の小規模会議を実施することで、利用者の情報や支援方法について共有する事ができました。 ・電子機器を使った記録の入力について、音声入力や定型文を使った入力を行う事で入力時間の短縮に繋げる事ができ、その分の時間を利用者との関わりの時間にあてる事ができました。 <p>【地域関わりシートについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年と祭り時期をずらし、過ごしやすい気候の時に実施する事ができた。その結果多くの方が祭りに参加していただく事ができた。大きな事故も無く無事祭りを終える事ができました。 ・今年も地域の方と協力し、神社の清掃活動に取り組む事ができました。地域の学生も協力をえる事ができ世代間交流も行えました。 	<p>【自己評価について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日のミーティング、毎月の会議のメンバーは？ ⇒毎日のミーティングは当日出勤している職員全員、毎月の会議は小規模職員全員の参加が基本です。参加できない職員がいた場合はノートや口頭で話した内容を共有しています。 ・ノートやタブレットを見る時間は決まっているのか。ノートとタブレットの両方を見るのか？ ⇒ノートはミーティング時に内容を確認し共有しています。タブレットは共有な必要な情報については案内が出るので、タブレット入力時に確認しています。最終的にはタブレットに一本化する予定ですが、今はノートとタブレット両方を使用しています。 <p>【地域関わりシートについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祭りの開催や清掃活動を行うにあたり、地域の説明や周知はどのようにしたのか。祭り時期の変更 	<ul style="list-style-type: none"> ・記録や雑務を効率化することでご利用者さんと関わる時間を増やし、一人一人のニーズに寄り添い自立に繋がる支援を行っていきます。

			<p>で地域参加者はどのくらい増えたのか？</p> <p>⇒祭りの参加者や区長、組合員さんに祭りのチラシを配布して周知に努めています。清掃については地域の学校と区長にお声掛けをして実施しました。祭り時期の変更による参加者の増加ですが、開催時期と時間、祭り内容の違いはありますが昨年と比べ300名以上の増加がありました。</p>	
B. 事業所のしつらえ・環境	<p>【鍵をかけないケア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在でも日中は鍵の施錠を行わず、日中は自由に出入りできる環境を整えています。夜間に関しては防犯対策の観点から施錠はしています。現在の取り組みを今後も継続していきます。 <p>【不快な臭い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室温に注意しつつ、定期的な換気を行います。新鮮な外気を定期的に取り込むことで感染予防対策に繋げるとともに、不快な臭いの発生防止を行っています。 ・トイレ介助等でどうしても発生する匂いについても消臭剤や換気を行う事で匂いが残らない取り組みを行います。 	<p>【鍵をかけないケア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の施錠は行わず、日中は自由に外出できる環境は維持できています。夜間は防犯対策として施錠を行っています。 <p>【不快な臭い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に換気を行う事で新鮮な外気を取り込むようにしています。排泄介助を行った際の残り香についても、速やかに臭いが除去できるよう換気を行う事ができました。その他にも気になる臭いを発見した際は、洗剤等を活用することで臭いを取り除き、利用者の皆様に不快な臭いが感じないよう対応する事ができました。 	<p>【鍵をかけないケア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面会は予約制なのか？ <p>⇒現在、予約制はとっておらずいつでも来ていただいても問題ありません。ただ食事中や入浴中の可能性もありますので、事前に時間を教えていただければ面会の準備をさせていただきます</p> <p>【不快な臭い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きらめきに何度か来る機会はありましたが、今まで不快な臭いを感じたことはありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者さんの健康を維持できるように、施設の環境を清潔に保ち気持ちよく過ごせる空間を作り努めます。 ・来所された方が気持ちよく過ごせる環境作りに努めます。
C. 事業所と地域のかかわり	<p>【地域とのかかわりについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方との交流できるイベントを企画し実施していきます。 ・園児や児童と世代間交流を継続して行っていきます。 <p>【事業所の周知について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結のカフェや結の保健室に参加いただいた方に対して施設で行っている活動やサービスを紹介 	<p>【地域とのかかわりについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祭りや行事を企画し、実施することで地域との交流を持つ事が出来ました。 ・世代間交流として、児童や園児を施設に招いて交流する機会を持つ事ができました。 <p>【事業所の周知について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設に訪問された方に対して、 	<p>【地域とのかかわりについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年の祭りは昨年より時期が遅かったので暑さを気にせず参加することができました。 <p>【事業所の周知について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生協の荷物を取りに行ったときにアンケートに協力しました。その時に施設のチラシを見て、どんな介護サービスを行っているの 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェやサロンは今後も継続して行い、職員が地域の方と交流する機会を持ちます。 ・地域の方が施設に気軽に来ることができるよう、祭りなどのイベントを企画し実施していきます。 ・チラシやSNSを活用し施設の紹介を行います。

	<p>し、地域の方に対して認知度を上げていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SNS を活用し施設の活動内容を発信していきます。 <p>【相談しやすい場所について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 結のカフェや結の保健室に介護支援相談員が参加し、地域の方の悩みに対応できる体制を用意します。 	<p>アンケートやチラシを配布することで地域の方に当施設が介護施設だとお伝えする事ができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設にも当施設のチラシの設置を依頼し、置いていただくことができました。 <p>【相談のしやすさ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 結のカフェや結の保健室に当施設の介護支援専門員が参加し、気軽に介護相談が出来る環境を整えました。地域の方からの相談に関しても、介護支援専門員が直接対応し相談を受ける事ができました。 	<p>か知ることができました。</p> <p>【相談のしやすさ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の方から介護のこと以外にも直接相談を受けることはあるか？ <p>⇒サロンや認知症カフェに来られた方に介護以外の内容で相談を受けた事はございます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 何かあればすぐに相談できるのでとっても頼りになります。 	
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>【軒下マップ（本人と関係する人・お店ほか記載）について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本人と地域がどのように繋がっているのかを把握するため、ツールを活用し情報の収集を行います。 <p>【利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 担当学会議を行う際はサービスに関わる事業所と家族以外にも、本人と関係が深い人や民生委員にも声掛けを行い、その人を支える多くの方から意見をいただけるように努めます。 	<p>【軒下マップについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者地域との繋がりについては普段の関わりから聞き取りを行う事はできましたが、軒下マップという形でまとめる事はできませんでした。 <p>【利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 担当学会議以外にも、市の担当者や民生委員、本人の友人や近所の方から、本人についての声を聴く機会を持つ事が出来ました。その結果、適切な支援に繋げる事が出来ました。 	<p>【軒下マップについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 軒下マップについてはよく分かりませんが、利用者の事を知る取り組みは良いと思います。 <p>【利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 担当学会議に地域の方が参加したケースはどのくらい？どんな人が参加した？ <p>⇒本人や家族に了解を得た上で本人と懇意にしている方や民生委員、看護師に声をかける事はありますが、都合が合わず参加に繋がらない状態です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 直接相談があった方へのフォローは？ <p>⇒後日連絡を取り、経過を確認しています。自サービスでは対応が難しい内容については、適切と思われるサービスの紹介や取次を行っています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本人に必要なと思われる社会資源を活用することで在宅生活を継続できるよう、支援を行っていきます。 ・ 地域で在宅生活が継続できるよう、本人と関わりを持つ方と交流を持ち協力できる関係作りに努めます。

<p>E. 運営推進会議を活かした取り組み</p>	<p>【運営推進会議を活用した取り組みについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設からの報告が中心となっていたので、来年度からは参加していただけた方からも積極的に意見をいただき、支援の改善につなげていきます。 	<p>【運営推進会議を活用した取り組みについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の状況や活動について報告を行う事ができました。また施設で行う催し物について提案し、参加をお願いする事が出来ました。施設運営について具体的な提案をいただく事は出来ませんが、施設で実施している介護サービスについて説明を行う事で各サービスの特徴を伝える事ができました。 	<p>【運営推進会議を活用した取り組みについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> 区の常会等に定期的に出向くことはあるのか？ ⇒具体的な予定が把握できておらず参加できていないのが現状です。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議の場を活用し、施設についてより知っていただくことで、地域の声をいただく機会とします。 運営推進会議を地域やご利用者さん、家族の困りごとや気になることを聞く場として活用し、声に対し迅速な対応が行えるよう努めます。
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>【防災計画について】</p> <ul style="list-style-type: none"> BCP（介護施設における事業継続計画）に基づき、研修、訓練の実施を行います。（居住系は年2回、居住系以外は年1回を実施） <p>【防火訓練について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害に備えて、各部門で利用者の緊急連絡先や指定の避難場所等も含めて再確認を行います。次年度も3月と9月に防災訓練と夜間、宿泊を想定しての訓練も実施します。訓練の際には地域の方にも参加を依頼し合同で行います。 	<p>【防災計画について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職場会議の研修でBCPについて学ぶ事ができました。定期的に訓練に取り組む事ができました。緊急時の連絡についても定期的に訓練を行い、連絡が繋がる事を確認できました。 <p>【防火訓練について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 9月に消防署の立ち合いの元、グループホームから出火を想定した避難訓練を実施しました。避難訓練後には消火器の扱いについて訓練も実施出来ました。来年3月に今年度2度目の訓練を予定しています。 	<p>【防災計画について】</p> <ul style="list-style-type: none"> BCPについて、どこに設置してあるのか？職員への周知は？ ⇒事務所に設置してあり、職員なら誰でも閲覧が可能な状態となっています。周知に関しましては定期的に職場会議の場にて学習会を行っています。 <p>【防火訓練について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年は不審者対応の訓練も行ったと聞きました。実際に不審者が来られたことはありますか？ ⇒間違って訪問する方はいますが、不審者が訪問した事は今までありません。今後もそうだと良いですが、来た時のことも想定し訓練を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> BCP（介護施設における事業継続計画）に基づき、研修、訓練の実施を行います。（居住系は年2回、居住系以外は年1回を実施） 防災・防火訓練の予定や実施内容については運営推進会議で報告させていただきます。